

地球温暖化防止に向けて

「レジ袋大幅削減」協定を締結

10月1日から12事業者でレジ袋が有料になります。

地球温暖化対策の一環としてレジ袋の使用量を削減する取組みが全国で展開されています。

市では、市内事業者や市民団体などによる「高山市レジ袋有料化協議会」を設立し話し合いを進めてきましたが、

7月31日、古田県知事と土野市長の立会いのもと、「高山市におけるレジ袋大幅削減に向けた取組みに関する協定」の締結式を行い、有料化実施に向けて大きく踏み出し

ました。

協定には、レジ袋削減目標やマイバッグ持参の呼びかけなど、事業者をはじめ関係団体などの取組み内容が定められています。

締結後、協議会の今井久和子会長は「身近なところにあるレジ袋の有料化によって、市民一人ひとりが環境意識を高め、環境負荷の少ない循環型社会が実現できるよう今後もしっかり取り組んでいきたい」と話していました。



協定を締結した事業者など関係者（高山市役所）

シリーズ

●「レジ袋削減（有料化）に向けて」

第2回

レジ袋を使わない工夫について

Q: マイバッグを持参していても、洗剤などにおいの強いものと食品を一緒に買ったときは、レジ袋に分けて入れたいと思いますが？

A: 食品用、家庭雑貨用、コンビニ用など、ご自身のお買い物の内容に合わせて、マイバッグを用途別に使い分けてみてはいかがでしょうか。

また、マイバッグをお買い求めの際は、仕切りのついたものなど、マイバッグの機能についてもご検討ください。基本的に『レジ袋をもらわない』ということを前提にいろいろと工夫をしてみましょう。

問合せ先 環境課
☎35-3467

問合せ先

環境課
☎35-3467

あなたの森づくりに役立ててください

環境にやさしい、災害に強い「多様な森林づくりモデル林」を設置しました

市では、「高山市間伐推進計画」に基づき、健全な森林整備の見本となる「多様な森林づくりモデル林」を設置しました。

ご自身の山づくりの参考にぜひともご活用ください。森林に興味のある方の見学もお待ちしております。

●モデル林の概要

設置場所 莊川町一色ほうぜん地内（一惣造林組合所有山林）

モデル林面積 14.29 ha

樹種 スギ・ヒノキ

林齢 55年生

●入林の手続き

希望者は市役所林務課または莊川支所基盤産業課で受付してください。受付後、入林許可証と地図をお渡します。



整備が行き届いているモデル林です（莊川町一色ほうぜん地内）

問合せ先

林務課
☎35-3143
莊川支所基盤産業課
☎057691-2221